

令和元年度第3回島田市立図書館協議会 次第

日 時：令和元年10月30日（水）午後7時～午後8時55分

会 場：会議棟 D会議室

1 開 会

2 あいさつ（図書館課長、協議会会長）

3 会 議

議題1 令和元年度島田市立図書館利用状況について

議題2 令和元年度島田市立図書館事業中間報告について

議題3 浜松市立中央図書館視察報告について

4 その他

5 閉 会

令和元年度 島田市立図書館利用状況（4月～9月）

①令和元年度利用者数及び貸出点数（前年度比較）

※利用者数は延べ人数

区分	利用者数（4月～9月）				貸出点数（4月～9月）			
	令和元年度	平成30年度	比較		令和元年度	平成30年度	比較	
			増減	前年比			増減	前年比
島田図書館	58,575	59,701	△ 1,126	98.11%	188,090	195,911	△ 7,821	96.01%
金谷図書館	20,787	21,083	△ 296	98.60%	72,231	73,823	△ 1,592	97.84%
川根図書館	5,805	6,674	△ 869	86.98%	15,927	17,893	△ 1,966	89.01%
初倉公民館	1,076	906	170	118.76%	3,993	3,588	405	111.29%
六合公民館	1,802	1,935	△ 133	93.13%	7,762	7,893	△ 131	98.34%
北部ふれあいセンター	210	273	△ 63	76.92%	1,119	1,356	△ 237	82.52%
大津農村環境改善センター	208	211	△ 3	98.58%	947	868	79	109.10%
計	88,463	90,783	△ 2,320	97.44%	290,069	301,332	△ 11,263	96.26%

②令和元年度年代別利用者数（前年度比較）

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般							計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
令和元年度	215	4,777	14,098	2,061	963	669	1,762	8,364	13,634	11,436	15,426	12,231	2,827	88,463
H30年度	312	5,294	15,158	2,117	918	683	2,485	9,360	13,623	12,319	15,299	10,695	2,520	90,783
増減	△ 97	△ 517	△ 1,060	△ 56	45	△ 14	△ 723	△ 996	11	△ 883	127	1,536	307	△ 2,320
比較	68.91%	90.23%	93.01%	97.35%	104.90%	97.95%	70.91%	89.36%	100.08%	92.83%	100.83%	114.36%	112.18%	

③令和元年度年代別貸出点数（前年度比較）

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般							計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
令和元年度	931	25,888	55,781	6,762	2,349	2,211	6,348	27,030	42,431	30,574	44,633	37,153	7,978	290,069
H30年度	1,356	28,644	58,970	6,561	2,217	2,249	7,946	30,920	43,687	33,129	45,866	32,891	6,896	301,332
増減	△ 425	△ 2,756	△ 3,189	201	132	△ 38	△ 1,598	△ 3,890	△ 1,256	△ 2,555	△ 1,233	4,262	1,082	△ 11,263
比較	68.66%	90.38%	94.59%	103.06%	105.95%	98.31%	79.89%	87.42%	97.13%	92.29%	97.31%	112.96%	115.69%	96.26%

令和元年度島田市立図書館事業中間報告

1 読書週間関連事業

(1) こどもの読書週間 4月23日(火)～5月12日(日)

標語「ドは読書のド♪」

《島田図書館》

◇企画展「英語を楽しもう！」

期 間：4月23日(火)～5月12日(日)

場 所：3階 児童特集コーナー

内 容：英語併記の絵本特集コーナーを設置

《金谷図書館》

◇企画展「耳で楽しむ・声に出して楽しむ本」

期 間：4月23日(火)～5月12日(日)

場 所：児童特集コーナー

内 容：「耳で楽しむ・声に出して楽しむ」をテーマにした児童書の特集コーナーを設置

◇クローバーカード

期 間：4月25日(木)～5月12日(日)

場 所：児童コーナー

内 容：児童書架に隠された、クローバーのイラストを探す。全部集めると、カウンターでスタンプをもらえる。

参加数：275人

《川根図書館》

◇企画展「とびだそう！でかけよう！（おでかけ・あそびの本）」

期 間：4月23日(火)～5月12日(日)

場 所：カウンター前 特設コーナー

内 容：「おでかけ・あそび」をテーマにした本の特集コーナーを設置

2 児童サービス

(1) 紙芝居と絵本の読み聞かせ

《島田図書館》

(9月末現在)

曜 日	グループ名	年度 計画	実施 回数	参加 人数
第1土曜日	島田おはなしの会	11回	5回	43人
第2日曜日	大津お話の会	12回	6回	88人
第1日曜日・第5土曜日	図書館職員	15回	8回	114人
第2・4土曜日	山びこ親子読書会	22回	12回	113人
第3土曜日	あすなる	11回	6回	151人
第4土曜日	英語であそぼドクターK I D S	10回	6回	96人
合 計		81回	43回	605人

《金谷図書館》

(9月末現在)

曜 日	グループ名	年度 計画	実施 回数	参加 人数
第2土曜日	さくらんぼ	10回	5回	80人
第4土曜日	図書館職員	11回	5回	88人
合 計		21回	10回	168人

《川根図書館》

(9月末現在)

曜 日	グループ名	年度 計画	実施 回数	参加 人数
第3水曜日	たまごマザー	9回	4回	42人
第4土曜日	図書館職員	11回	6回	38人
合 計		20回	10回	80人

(2) ブックスタート事業

(9月末現在)

実施月	4月		5月		6月		7月		8月	
実施日	9日	16日	14日	21日	4日	11日	9日	23日	6日	20日
参加者	22人	21人	34人	25人	26人	28人	36人	30人	19人	22人
計	43人		59人		54人		66人		41人	

実施月	9月		4月～9月計
実施日	3日	10日	各月2回 12回実施
参加者	32人	22人	
計	54人		317人

(3) おはなしギフト

《島田図書館》

(9月末現在)

施設名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
旭町きしゃぼっぽ(旭町公民館)	5月10日(金)	1回	23人	
大柳きしゃぼっぽ(大柳公民館)	5月20日(月)	1回	35人	島田おはなしの会
あそぼう会(第一保育園)	5月28日(火)	1回	36人	
あかちゃん部(ロクティ)	6月14日(金)	1回	22人	まめっちょ
にこにこ広場(六合第二保育園)	6月21日(金)	1回	27人	まめっちょ
子育てふうせん(ゆたか保育園)	7月3日(水)	1回	7人	
ぐう・ちょき・ぱあ(島田第一中学校)	9月5日(木)	1回	36人	
元島田きしゃぼっぽ(元島田公会堂)	9月13日(金)	1回	26人	
すまいるたまご(歩歩路)	9月19日(木)	1回	34人	
計		9回	246人	

《金谷図書館》

(9月末現在)

施設名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
子育て広場あかちゃん部 (みんくる)	4月26日(金)	1回	12人	
子育て支援センターひよこ (五和保育園)	5月31日(金)	1回	21人	
子育て広場あかちゃん部 (みんくる)	6月28日(金)	1回	10人	
番生寺きしゃぼっぽ (番生寺会館)	7月23日(火)	1回	26人	
子育て広場あかちゃん部 (みんくる)	7月26日(金)	1回	16人	
子育て広場あかちゃん部 (みんくる)	8月23日(金)	0回	0人	(参加者なし)

子育て広場あかちゃん部 (みんくる)	9月27日(金)	1回	6人	
子育て支援センターひよこ (五和保育園)	9月27日(金)	1回	28人	
計		7回	119人	

(4) おはなし宅配便

《島田図書館》

(9月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
たけのこ保育園	4月23日(火)	1回	19人	
島田北幼稚園	5月8日(水)	1回	79人	
島田学園附属幼稚園	5月15日(水)	2回	81人	
島田南幼稚園	5月21日(火)	2回	160人	
六合幼稚園	5月23日(木)	1回	80人	
大津保育園	5月29日(水)	1回	22人	大津お話の会
みどり認定こども園	6月5日(水)	1回	48人	島田おはなしの会
こぼと保育園	6月6日(木)	1回	48人	
六合第一保育園	6月11日(火)	2回	89人	
島田市立第三保育園	6月18日(火)	2回	65人	
ゆたか保育園	6月27日(木)	1回	51人	
伊久身幼稚園(1回目)	7月9日(火)	1回	20人	まめっちょ
初倉保育園	8月1日(木)	2回	70人	
島田市立第一保育園	8月22日(木)	2回	66人	
こども発達支援センターふわり	9月12日(木)	1回	21人	まめっちょ
計		21回	919人	

《金谷図書館》

(9月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
五和保育園	4月17日(水)	2回	56人	
五和保育園	5月15日(水)	2回	60人	さくらんぼ
金谷幼稚園	5月22日(水)	1回	36人	島田おはなしの会

神谷城保育園	5月29日(水)	1回	36人	
五和幼稚園	6月19日(水)	2回	109人	
計		8回	297人	

(5) 学校朝読書会への職員派遣(川根図書館)

川根小学校朝読書会 (9月末現在)

実施日	6月13日	7月3日	7月11日	計
参加者	14人	14人	25人	53人

川根中学校朝読書会 (9月末現在)

実施日	6月19日	計
参加者	11人	11人

3 夏休みイベント

(1) 夏休み一日体験図書館員

《島田図書館》

実施日：7月31日(水)、8月2日(金)、8月8日(木)、8月9日(金)計4回
参加者：各日4人 計16人

《金谷図書館》

実施日：7月31日(水)、8月7日(水) 計2回
参加者：7月31日(水)4人、8月7日(水)2人 計6人

《川根図書館》

実施日：7月30日(火)、7月31日(水) 計2回
参加者：各日2人 計4人

(2) こども映画会

《金谷図書館》

みんくる納涼夏まつり映画会

実施日	上映作品	参加者
7月28日(日)	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 2作品	162人

夏休み映画会

実施日	上映作品	参加者
-----	------	-----

8月9日(金)	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 1作品 おしりたんてい4 2作品	105人
8月23日(金)	忍たま乱太郎の宇宙大冒険 1作品 おしりたんてい4 2作品	104人
計		209人

(3) 「ほんのむし」カード

《金谷図書館・川根図書館》

実施期間：7月2日(火)～9月1日(日)

対 象：幼児から小学生まで

内 容：1日1回本を借りるごとにスタンプを押し、10個以上貯めた子どもに景品や認定証を渡し称揚した。(10個で景品、20個で認定証と景品)

実 績：参加者686人(金谷553人、川根133人)

プレゼント配付者127人(金谷107人、川根20人)

認定証授与者22人(金谷19人、川根3人)

4 講座の開催

(1) 図書館ボランティア講座

《島田図書館》

本の修理ボランティア講座

実施日：6月6日(木)、12日(水)全2回

参加者：延べ24人(実人員12人)

場 所：島田市立第二中学校、

内 容：本を実際に修繕しながら、簡単な本の修理方法を学ぶ。

講 師：図書館職員

5 体験学習・施設見学等の受入れ

(1) 勤労体験学習の受入れ

島田図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
5月15日(水)～ 5月16日(木)	島田第二中学校	2年生	2人
5月15日(水)～ 5月16日(木)	六合中学校	2年生	2人
計			4人

金谷図書館

9月末現在、実施なし。

川根図書館

9月末現在、実施なし。

(2) 施設見学の受け入れ

島田図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
4月11日(木)	初倉小学校	特別支援学級	17人
4月11日(木)	初倉小学校	5年生	55人
4月23日(火)	伊久美小学校	3～6年生	16人
7月3日(水)	島田第五小学校	2年生	60人
7月5日(金)	大津小学校	2年生	33人
7月10日(水)	島田第三小学校	2年生	49人
7月11日(木)	島田第四小学校	2年生	81人
7月17日(水)	伊太小学校	2年生	13人
9月5日(木)	島田実業高等専修学校	1・2年生	45人
9月11日(水)	島田第二小学校	2年生	57人
計			426人

金谷図書館

(9月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数
4月23日(火)	金谷小学校	1年生	98人
8月23日(金)	金谷小放課後児童クラブ	1～3年生	46人
計			144人

川根図書館

9月末現在、実施なし。

6 障害者読書支援

◇静岡福祉大学附属図書館相互協力協定事業

・所蔵本の相互貸借 静岡福祉大学附属図書館へ貸出 1冊

◇マルチメディアデイジー図書

公益財団法人伊藤忠記念財団からマルチメディアデイジー図書 枚を各図書館で受入れ
各図書館で 種類のマルチメディアデイジー図書と活用術の本を所蔵

7 学校図書館支援事業

◇学校図書館支援

《島田図書館》

実施日	支援先（学校名等）	内容
6月4日（火）	静岡大学教育学部附属島田中学校	本の廃棄作業補助
6月18日（火）	島田第三小学校	ボランティア修理講座
6月19日（水）	島田第四小学校	校舎立替に伴う本の移動補助
6月19日（水）	島田第一中学校	除籍・修理補助
7月5日（金）	初倉小学校	家庭教育学級講師派遣
7月10日（水）	島田第四小学校	仮設学校図書館書架配置相談
7月10日（水）	島田第一小学校	新規支援員への修理講座
9月18日（水）	島田第一小学校	ボランティア書架整理講座
9月26日（木）	静岡大学教育学部附属島田中学校	本の廃棄作業補助

《金谷図書館》

実施日	支援先（学校名等）	内容
7月5日(金)	金谷小学校	家庭教育学級講師派遣

《川根図書館》

実施日	支援先（学校名等）	内容
7月3日(水)	川根中学校	本の廃棄作業補助

◇団体貸出

（9月末現在）

館名	貸出学校数	貸出冊数
島田図書館	14校	586冊
金谷図書館	7校	354冊

川根図書館	3校	845冊
計	(実学校数) 24校	1,785冊

8 読書通帳事業

(1) 読書通帳の交付

読書通帳交付冊数（事業開始時から）

区分	新規	継続	再交付	計
平成24年度	1,240冊	6冊	3冊	1,249冊
平成25年度	681冊	140冊	13冊	834冊
平成26年度	423冊	192冊	15冊	630冊
平成27年度	674冊	240冊	17冊	931冊
平成28年度	567冊	224冊	14冊	805冊
平成29年度	861冊	262冊	26冊	1,149冊
平成30年度	679冊	289冊	13冊	981冊
令和元年度（9月末現在）	387冊	165冊	12冊	564冊
累計	5,512冊	1,518冊	113冊	7,143冊

9 雑誌スポンサー制度

実績（事業開始時から）

年度	スポンサー数	雑誌タイトル数
平成23年度	12事業者	26誌
平成24年度	19事業者	38誌
平成25年度	32事業者	53誌
平成26年度	36事業者	57誌
平成27年度	36事業者	62誌
平成28年度	37事業者	68誌
平成29年度	41事業者	72誌
平成30年度	45事業者	73誌
令和元年度（9月末現在）	48事業者	76誌

10 その他の事業

(1) 高齢者おはなし会（川根図書館）

実施日：毎月1回

場 所：ふれあい健康プラザ

内 容：来所者と会話しながら読み聞かせを実施する。

参加者：9月末現在 延 38人

(2) むいぐるみの図書館おとまり会

実施日：7月20日（土）～21日（日）

場 所：島田図書館

内 容：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館にお泊りし、図書館の中を探検したり、本を読んだりする様子を撮影して渡すことにより、図書館や本に関心を持ってもらうことを目的としたイベント

参加者：3歳～小学校2年生までの子どもとその愛用のぬいぐるみ10組

(3) こどもわくワーク（主催：NPO法人クロスメディアしまだ）

実施日：8月20日（火）、21日（水）

場 所：島田図書館

内 容：図書館でのお仕事（カウンターと配架）体験

参加者：各日小学生2人、計4人

(4) 図書ヨガ！

実施日：9月9日（月）

場 所：島田図書館2階書架フロア

内 容：図書館を利用したことがない市民にも、図書館に目を向けてもらう手段として図書館とスポーツを融合したイベントを実施。ヨガの後は、本や図書館を身近に感じてもらうため、図書館員の案内で書架めぐりツアーを行った。

参加者：22人

11 10月以降に実施する主な事業

(1) 秋の読書週間 10月27日（日）～11月9日（土）

標語「おかえり、葉の場所で待ってるよ」

《島田図書館》

◇企画展「古都（京都・奈良）」

期 間：10月1日（火）～10月31日（木）

場 所：2階 一般特集コーナー

内 容：京都・奈良を題材とした小説及び京都・奈良の紹介する本の展示

◇企画展「落語～声に出して読んでみよう～」
期 間：10月24日（木）～11月26日（火）
場 所：3階 カウンター横ブックトラック
内 容：落語に関連した本の展示

◇おはなしマラソン
実施日：10月26日（土）
場 所：3階 おはなしのへや
内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

《金谷図書館》

◇企画展「美味しそうな本」
期 間：9月26日（木）～11月26日（火）
場 所：一般特集コーナー
内 容：美味しそうな食べものや料理が出てくる一般書・児童書を集めた、特集コーナーを設置

◇企画展「どうなってるの？ふしぎな世界～ミステリー・たんてい・なぜ？のおはなし～」
期 間：10月24日（木）～11月10日（日）
場 所：児童特集コーナー
内 容：ミステリーを中心に児童書を集めた、特集コーナーを設置

◇どんぐりカード
実施日：10月24日（木）～11月17日（日）
場 所：児童コーナー
内 容：児童書架に隠された、どんぐりのイラストを探す。全部集めると、カウンターでスタンプをもらえる。

◇おはなしマラソン
実施日：11月9日（土）
場 所：金谷公民館 2階 集会室
内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

《川根図書館》

◇企画展「かわいいね、みんなのねがお～おやすみまえのよみきかせ絵本～」
期 間：10月24日（木）～11月9日（土）
場 所：カウンター前 特設コーナー
内 容：「かわいいね、みんなのねがお」をテーマに、おやすみ前のよみきかせ絵本等の特集コーナーの設置

◇秋のスタンプラリー

期 間：10月1日（火）～10月31日（木）

内 容：川根小との共同事業。1日1回本を借りたらスタンプを押し、10個貯まったらプレゼント贈呈

(2) 除籍本・雑誌の無料配布

≪川根図書館≫

実施日：11月16日（土）・17日（日）

場 所：川根図書館

≪金谷図書館≫

実施日：12月7日（土）・8日（日）

場 所：金谷図書館 ボランティア室

≪島田図書館≫

実施日：3月7日（土）

場 所：プラザおおるり 展示ホール

(3) 文学講座

実施日：11月24日（日）

場 所：島田図書館

講 師：服部 正美（月の輪熊八）

内 容：「古典落語の世界」

定 員：40人

(4) 切り絵・おり紙講座

実施日：12月8日（日）

場 所：川根図書館

定 員：15人

講 師：青木 あゆみ

内 容：「切り絵」と「おり紙」でクリスマス飾りを作る。

(5) 川根図書館あかり展

実施日：11月23日（土祝）

場 所：川根図書館

内 容：夜の図書館に「あかりアート」を灯し、川根小学校の児童と図書館職員が「紙芝居」、「読み聞かせ」、「歌」などのパフォーマンスを披露する。

(6) ひみつカード

実施日：11月30日（土）～1月13日（月祝）

場 所：金谷図書館

対 象：小学生以下

内 容：本を借りたらひみつの絵の一部を渡し、16枚集めて絵を完成させる。

(7) 図書館福袋

実施日：1月5日（日）～（なくなり次第終了）

場 所：島田図書館

内 容：2冊で1袋、貸出は1人1袋まで。

大人向け、中高生向け、子ども向けを用意 袋の数は未定

(8) 図書館おみくじ

実施日：1月5日（日）・7日（火）・8日（水）

枚 数：島田図書館、金谷図書館、川根図書館、川根支所、チャリム、地域館（5館）にて実施。配布数は未定。

(9) 新春子ども映画会

実施日：1月12日（日）

場 所：金谷公民館 2階 集会室

内 容：おしりたんてい5 2作品

(10) 楽しい！理科教室

実施日：1月11日（土）

場 所：川根図書館

定 員：15人

講 師：村上泰造

内 容：未定

(11) 読み聞かせボランティア・ステップアップ講座

実施日：2月（日未定）

場 所：金谷公民館 2階 集会室

定 員：40人

内 容：未定

(12) 本の帯まつり

実施日：1月～3月

場 所：島田図書館内

内 容：島田市の伝統行事である「帯まつり」になぞらえ、自作の「本の帯」を募集し、島田図書館内で「本の帯まつり」と称して展示する。

令和元年度島田市立図書館利用状況及び目標達成率

1 図書購入費(図書、雑誌、AV、新聞) (円、%)

区分	令和元年度(予算)	9月末執行済額	執行率
島田図書館	13,032,000	5,502,695	42.22%
金谷図書館	5,852,000	2,297,644	39.26%
川根図書館	3,160,000	1,139,468	36.06%
地域館	1,400,000	646,109	46.15%
合計	23,444,000	9,585,916	40.89%

2 蔵書数(全体) (点、%)

区分	令和元年度(目標)	9月末蔵書数	充足率
島田図書館	185,000	179,484	97.02%
島田別館(旧島田分館)	82,000	88,500	107.93%
金谷図書館	112,500	113,505	100.89%
川根図書館	43,500	43,967	101.07%
図書館合計	423,000	425,456	100.58%
初倉公民館	8,800	8,810	100.11%
六合公民館	6,700	6,858	102.36%
北部ふれあいセンター	4,200	4,399	104.74%
初倉西部ふれあいセンター	4,000	4,054	101.35%
大津農村環境改善センター	3,500	3,602	102.91%
地域館合計	27,200	27,723	101.92%
合計	450,200	453,179	100.66%

令和元年度島田市立図書館利用状況及び目標達成率

3 貸出人数

(人、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	119,600	58,575	48.98%
金谷図書館	40,500	20,787	51.33%
川根図書館	12,700	5,805	45.71%
初倉公民館	1,860	1,076	57.85%
六合公民館	4,100	1,802	43.95%
北部ふれあいセンター	490	210	42.86%
初倉西部ふれあいセンター	350	182	52.00%
大津農村環境改善センター	460	208	45.22%
合計	180,060	88,645	49.23%

4 貸出点数

(点、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	385,000	188,090	48.85%
金谷図書館	141,000	72,231	51.23%
川根図書館	34,500	15,927	46.17%
初倉公民館	7,300	3,993	54.70%
六合公民館	16,800	7,762	46.20%
北部ふれあいセンター	2,500	1,119	44.76%
初倉西部ふれあいセンター	1,030	434	42.14%
大津農村環境改善センター	1,900	947	49.84%
合計	590,030	290,503	49.24%

令和元年度島田市立図書館利用状況及び目標達成率

5 登録者数

(件、%)

区分	令和元年度(目標)	9月末登録数	達成率
個人	63,000	61,705	97.94%
団体	360	391	108.61%
合計	63,360	62,096	98.01%

6 予約件数

(件、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
来館	12,000	6,409	53.41%
館内OPAC	2,500	1,337	53.48%
WEB OPAC	24,000	12,318	51.33%
合計	38,500	20,064	52.11%

※OPAC:オンライン蔵書目録(Online Public Access Catalogの略)。

7 レファレンス受付件数

(件、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	5,300	2,330	43.96%
金谷図書館	3,200	1,724	53.88%
川根図書館	1,500	655	43.67%
合計	10,000	4,709	47.09%

令和元年度島田市立図書館利用状況及び目標達成率

8 貸出冊数(団体)

(点、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	5,500	2,438	44.33%
金谷図書館	2,700	1,443	53.44%
川根図書館	1,800	845	46.94%
合計	10,000	4,726	47.26%

9 おはなし会開催回数

(回、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	83	43	51.81%
金谷図書館	22	10	45.45%
川根図書館	20	10	50.00%
合計	125	63	50.40%

10 おはなし会参加人数

(人、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	1,250	605	48.40%
金谷図書館	400	168	42.00%
川根図書館	350	80	22.86%
合計	2,000	853	42.65%

令和元年度島田市立図書館利用状況及び目標達成率

11 おはなしマラソン参加人数

(人、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	200	0	0.00%
金谷図書館	250	0	0.00%
合計	450	0	0.00%

12 おはなし宅配便開催園数・参加人数

(園、人、%)

区分(上段:園数・下段:人数)	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	19	15	78.95%
	1,300	919	70.69%
金谷図書館	5	3	60.00%
	400	297	74.25%
合計	24	18	75.00%
	1,700	1,216	71.53%

13 講座開催回数

(回、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	4	1	25.00%
金谷図書館	1	0	0.00%
川根図書館	2	0	0.00%
合計	7	1	14.29%

令和元年度島田市立図書館利用状況及び目標達成率

14 学校図書館支援学校数

(校、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
島田図書館	18	6	33.33%
金谷図書館	5	1	20.00%
川根図書館	2	1	50.00%
合計	25	8	32.00%

15 ブックスタート実施回数・参加人数

(回・人、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
実施回数	24	12	50.00%
参加人数	620	317	51.13%

16 おはなしギフト実施回数・参加人数

(回、人、%)

区分	令和元年度(目標)	4月～9月実績	達成率
実施回数	27	16	59.26%
参加人数	405	365	90.12%

浜松市立中央図書館視察報告

実施日：令和元年9月19日（木）

参加者：山本敬子会長、熊谷成子委員、大井喜子委員、
松村享委員、鈴木重義委員、事務局 6 名

1 浜松市立図書館の概要

浜松市立図書館は駅前分室を含め全部で24館あり、今回視察した浜松市立中央図書館、浜松市立城北図書館の2館は窓口業務委託の運営形態をとっており、天竜区の5館については直営業務、それ以外の17館は指定管理の運営となっています。

平成30年度末における浜松市立図書館24館の総蔵書数は2,566,711冊で、総貸出冊数は4,510,299冊です。また、平成30年度末における浜松市立中央図書館の蔵書数は300,893冊、貸出冊数は423,814冊となっています。

今回の視察研修では、浜松市における図書館業務の委託化の経緯や現状、市と委託業者の業務の役割分担や窓口業務等の役割分担、業務委託化のメリット、デメリットについて確認することを中心に、浜松市立中央図書館の事業運営と施設の内観や機能等についても情報収集してきました。

なお、浜松市立図書館では、現在の業務委託の体制を廃止し、来年度から中央図書館を直営に、また、城北図書館を指定管理に改めるということでした。業務委託を廃止する理由としては、城北図書館を指定管理とすることで、さらに指定管理体制を推進し、かつ、職員を中央図書館に集中することで各種事業の推進と効率的・合理的な運営を目指すということでした。

2 事前質問及び回答について

別紙のとおり

3 視察会場での質疑応答

質 問 中央図書館の非常勤職員6人は、どのような業務に携わっていますか。

回 答 窓口業務以外の全てに関わっています。何かの業務に限定しているということはありません。

質 問 ブックスタート等、外に出掛ける事業はどのような方が行っていますか。

回 答 指定管理館でのブックスタートは、一昨年度までは中央図書館の職員が行っていましたが、昨年度からは各指定管理館のスタッフが出向くようになりました。

質 問 中央図書館でのブックスタートや出前講座のアウトリーチ業務に際して、職員の経験年数等の違いから業務に支障があったということはありませんでしたか。

回 答 合併以前から図書館にいた職員がまだ中央図書館に残っておりますので、その職員が主になって新しく入った職員を育成しています。アウトリーチ事業については必ずベテランと新人が組んで出掛け、新人の指導育成を図っています。

質 問 浜松市では、どのような10年後のビジョンを描いていますか。

回 答 今図書館では高齢者の利用も増えていきますし、一方で次世代育成も課題になって

います。また、障害を持たれた方や、浜松市の場合は外国人も多く住まわれていることから、いろんな立場の方達の人生に寄り添って、少しでも幸せになれるような図書館でありたいと考えています。

質 問 選書についてですが、指定管理館は指定管理で選書をして、直営は直営で選書をすると思いますが、各館のバランスや、重複と複本についてはどのようにしていますか。

回 答 指定管理館各館で選んだ資料を基に主に中央と城北の職員から成る選書検討メンバーが金曜日の午後に集まって、話し合いで決めています。館によって予算額も違うので、それぞれの予算に合った選書となるよう配慮しています。

質 問 図書館業務の委託の事業者は、何社くらい応募がありますか。

回 答 最新の年度で2社となります。業務委託を導入した頃はいろんな業界から参入希望がありましたが、年を経るごとにだんだん減ってきて、今の業者に集約されてきました。

質 問 浜松市の図書館が教育委員会部局ではなく市長部局に置かれていることを踏まえると、教育機関としての機能だけではなく、全市民に利用されるような幅広い捉え方をする必要があります。図書館を利用しない市民の声を聞く姿勢についてどのようにされていますか。

回 答 今回ビジョンを作るにあたっては、広く声を聞きたいということで、七つの区の協議会に出向いて意見を聞いてきました。

図書館利用者には、本を借りる人だけでなく、スペースとして図書館を利用している人達がたくさんいます。例えば中高生が勉強をする場所として来館しています。また、高齢者が新聞や本を読むために図書館に通ってきてくださっている実態もあります。そういった中でどのようなソフト事業が展開できるかが課題であると考えています。

質 問 来年度から業務委託をやめて指定管理と直営に移行するとのことですが、小さなところは別として、中央館が直営、他が指定管理となりますが、中央館が直営とするのはどのような位置付けとしていますか。

回 答 中央館が音頭をとって全体的に行うものとして、ブックスタートと自動車文庫の事業があり、指定管理の仕様としております。

他部署との繋がりというものや、試行的に行うものは、まず中央館が行い、ある程度軌道に乗ったものや試行が終了したものについては全市的に行っていくようにするよう考えています。

質 問 指定管理の場合、新たな事業等が発生した場合は、追加項目として新たな費用が発生することになるのか、あるいは追加項目の発生を織り込んだ形で予め契約を交わすのでしょうか。

回 答 指定管理者としては、途中から業務が追加となるというのは当然抵抗があります。

基本的にはソフト事業は指定管理者のやり方をお願いすることが多いですが、ものによっては最初から仕様に入れ込んでおき、それによって指定管理料を算定しているものもあります。

質問 資料の中に経費などに関する評価という項目があり、図書館費については「評価せず」となっていますが、図書購入費と図書館費は毎年増加してきていますか。

回答 一番新しい図書館として都田図書館が平成 28 年に開館した際、3 カ年に渡って資料を増やしたいということで図書購入費が増えておりが、それ以降は再びそれ以前のベースに戻っています。

質問 委託や指定管理にすると経費は減少するのですか。

回答 指定管理となってから開館時間を延長したり休館日をなくしたりといったようなことをしていますので、それ以前と単純に比較するのは難しいのですが、事業者によっては清掃や警備、建物管理といったビルメンテナンス部門の専門業者をグループとして提案することで経費を減らしてくるところもあります。

質問 事業者が NPO とタイアップしている例はありますか。

回答 地域振興という側面ですが、舞阪を拠点として活動している NPO が図書館を中心として地域を発展させたいということで、舞阪の図書館で活動をしており、そこがうまくいっているのので、今後拡大していこうとしています。

質問 指定管理の事業者は何社くらいありますか。

回答 現在 4 社です。

質問 中央図書館と城北図書館が中心になって選書をしているとのことですが、そこでは非常勤職員の方の力が大きいのですか。

回答 選書検討会のメンバーに非常勤職員は入っておりません。ブックスタートについては経験豊富な非常勤職員が大きな力を発揮しています。

質問 レファレンスや郷土の参考資料のことは正職員の方が担当されているとのことですがどのような受託業者とはどのような業務分担となっているのですか。

回答 それぞれの地域資料は、それぞれの地区で受託業者が作成しています。

質問 職員の中で図書館司書は何名ほどいらっしゃいますか。

回答 中央図書館の非常勤を含む市職員 32 名のうち司書が 15 名です。窓口業務（委託）の方では、19 名中司書が 13 人です。城北図書館では市職員 19 名中司書が 8 名、窓口業務（委託）の方は、24 名中司書が 17 人となっています。全体では市職員 62 名中 28 人が司書で 45.2 パーセント。窓口業務委託では 43 名中 30 名が司書 69.8 パーセント、指定管理ではスタッフ数 179 人中 124 人が司書で 69.3 パーセントとなっています。

意見・感想1

好天に恵まれ、直営と業務委託の浜松中央図書館視察に訪れました。

いろいろ私達の想像のつかない水面下のお話を聞き、「なるほど」と・・・。

島田図書館において、いざ業務委託になりましたらどうなるのか……。またまた想像もつかない。もし、業務委託になりましても、図書館全館の仕事を任せるのではなく（「窓口」にしても）、委託業者と市の職員と同時にカウンターに立てれば良いかな？

仕事を委託業者と市の職員と分けなくても良いんじゃないかな……。こう言うと「語弊」があるかもしれませんが・・・。

意見・感想2

予算が厳しくなっている現在、指定管理や業務委託などの民間委託が、選択肢となるのは避けられない風潮ですが、本日の浜松市立中央図書館の話から考えても、民間委託は問題が多いと思いました。

理由としては5つあります。

ひとつは、図書館のそもそもの役割です。図書館は本の貸出や読書の場の提供だけではなく、その市、その町の文化を、資料の収集を通して、保存、継承していくところだと考えます。そのためには、民間ではなく、市が直接たずさわるべきではないかと思えます。

2番目に、市の直接雇用職員と利用者とのコミュニケーションの機会が限られてしまう点です。浜松市立中央図書館では現在も窓口は業務委託とのことですが、利用者と同じに接する窓口には直接雇用職員がいなくて、どうやって、利用者の要望や動向を知ることができるのでしょうか。適切な選書のためにも、数字のうえの利用者ではなく、実際の利用者に接することが大切だと思います。

3番目に、今日の話にありましたが、指定管理として手をあげた企業は2社のみとか。指定管理が始まった頃は、様々な業種が名乗りをあげていましたが、現在は非常に限られてるようです。図書館が利益をあげられる業務ではないことが周知されてきているのだと思えます。今後、手をあげる企業がなくなる可能性もあるのではないのでしょうか。

4番目に、指定管理からもとの直営に戻している図書館の話をごここ数年耳にすることです。実際に、民間委託をしてデメリットが大きかったのではないかと推測します。

最後に5番目の理由としては、労働環境と労働条件の問題です。民間委託により、これまでより、少ない予算、つまり少ない人員で、サービスを向上させるということは、それだけ働く人の負担を大きくすることだと思います。SDGsでも労働環境や労働条件が大きな注目をあびているなかで、安い給料、不安定な身分の労働者をふやすことにならないのでしょうか。

以上、思いつくままに書きましたので、見当違いの点がありましたら、申し訳ございません。

意見・感想3

10年以上のアウトソーシングを進め実践してきたため、委託業者と市の連携が円滑に進められていると感じました。また、委託業者の人材育成がしっかりなされているように感じられました。

市民から高い評価をいただいているとのことですが、委託業者から派遣され、実際に働いてい

らっしゃる方にもお話しを伺ってみたかったと思いました。(業務内容、報酬、業務に対しての意見等)

図書館業務には高い専門性が必要であると思います。市の職員の方は配置転換等があるため、図書館員全体の専門性をどのように持続していくのが課題であると思われます。浜松市では、世代交代のための引継ぎなどを行っているようでしたが、委託業者から派遣されている方の中には、かなりの専門性をもっている方がいらっしゃるのでは？と思います。島田市にとって、個々の専門性を生かすことができる業務委託が、今後必要なのではないでしょうか。

窓口業務の大切さを話されていましたが、大変同感しました。10年以上のアウトソーシングの経験を生かした次への展望を掲げていましたが、委託業者が育ち人材が育つことこそが重要で、そのためには、それなりの時間が必要であり、一朝一夕にはいかないということを感じました。今後、先に業務委託をしている市町の取組みを学び、よりよい島田市の業務委託の方法を検討していく必要があると思います。

中央図書館の設備等については、大変落ち着いた空間となっており、本と向き合えるいい環境が整っていることを実感しました。特に地下にある資料室は広さ設備とも充実しており、静岡県中央図書館より勝る設備となっているのでは？と思ってしまいました。また、資料として学校への支援図書が大変充実していました。島田市においても、今後取り組むべき内容ではないかと感じました。

意見・感想4

第一印象は「気軽に入りやすくない」ということです。教育研究機関としての図書館機能に徹しており、多くの市民が利用しやすくなる事業や雰囲気づくりは二の次と考えていると思われました。

70万人市民のうち約17万人が登録し、本を借りているようです。その他の50万人以上の人は図書館を利用しているのか、ほとんど利用していないとすれば図書館に期待を持っていないのか、要望はないのか。他市の様子を知らない人がほとんどだと思われるので、知らないから要望が持てないのではないかと。

委託化等による苦情等ほとんどないと説明されましたが、知らない人から意見は上がらないので、自らが他市町村等から情報収集し、長期的な展望を時間をかけ市民と行政が検討していく体制づくりが大切ではないかと思いました。

意見・感想5

質問と回答のP2の回答を読んでも、多くの矛盾点があると思いました。結果としてこれからの図書館の姿を求めるならNPOが運営するのがベストだと改めて思いました。島田市も直営が不可能であるならば安易に民間に委託するのではなく、島田市民が参加し作り上げていくNPOにまかせるべきだと思います。市民の町づくりの一環としてとらえなおしていくことが今後大切になるのではないかと。なぜ委託するのが明確に説明できないと思います。

意見・感想6

浜松市立図書館では、平成18年度から窓口業務の委託と指定管理者制を導入されていて、すでに10年以上の実績があり、今もなお継続しているので、非常に参考となる事例だと思いました。中央図書館は直営に移行予定とか、その他の図書館は指定管理者や業務委託に移行していることを聞くと、島田市立図書館でも3館の対応は、それぞれその館に合った方法でいいのかなと思いました。職員に対する司書資格者の割合についても島田市に比べて非常に多く、重要なものとして捉えているように思えました。

意見・感想7

市の業務が委託化の方向に向かう中、業務委託を検討するにあたり良い視察だったと思いました。

業務委託のメリットとして「新規事業の立ち上げなどに、市職員を注力させることができる。」という点、デメリットとして「人事異動により、知識と経験を有する職員の育成が困難。」という点を浜松市では上げていました。現場で実際の声を聞くと同感です。業務委託を行っていない当市では、現在の浜松市基幹図書館のメリット、デメリットが丁度逆のように感じます。

業務委託を実施すれば、全ての業務の質が向上するという訳ではなく、低下する部分もあることをしっかり認識して検討していかなければならないと感じています。

意見・感想8

市の方針として業務委託化が避けられない状況の中、業務委託や指定管理の豊富な実績と経験を持つ浜松市の職員の声を聞くことができ、大変有意義な視察であったと思われます。業務委託や指定管理によって窓口サービスの評価が上がったとのことでしたが、もし当市でも同じ結果となれば、それはきっと喜ばしい反面、我が身を反省しなくてはならないと思いました。

浜松市では10年を見据えたビジョンを作成し、市民に公開しているとのことでしたが、市がこれから図書館をどうしていきたいかを市民に知ってもらうために、必要な事業であると思いました。

意見・感想9

令和2年度は、現嘱託職員を会計年度任用職員として採用できることになったが、次年度からの雇用形態については不明」という話に不安が募り、急遽視察に参加させていただいた。

現在、ほぼすべての業務に正規職員、嘱託職員が協力し合いながら携わっている。そのため、業務委託になった場合、同じ館の中に市職員と業者の社員が混在することで、どのような問題が生じてくるのか、現場の生の声を聞いてみたかった。

しかし浜松市は、今年度いっぱい現在の形態を解消し、来年度からは指定管理館と直営館に分けるというお話だった。「現形態で特に問題は生じていない」ということだったが、10年間やってみて、指定管理に移行することが何を意味しているのか、令和3年度以降の島田市立図書館に教示してくれているように感じた。

意見・感想10

浜松市立図書館は、直営、業務委託、指定管理と全ての体系を行っている。利点としては、専

門業者による運営は市民からも満足を得ているが、行政の目が届かなくなるという欠点もある。業務委託に関しては、窓口業務のみを行っておりアウトリーチ事業などは職員が行なっている。

これらの経験を基に浜松では来年度から業務委託をやめ、指定管理と直営のみで運営していく。中央館を直営とし、職員を集中させ企画や新規事業を行うことにより図書館機能の向上を目指している。また、指定管理により図書館運営部分（窓口業務、システム操作等）が分からなくなることを直営館運営方式により回避する。このようなハイブリッド方式が好ましいが島田市では難しい。業務委託についても浜松のように窓口のみ行い他のアウトリーチ事業は職員で行うことは難しいと思われる。

意見・感想 11

今回の視察で知りたかったことは、正規職員・非常勤職員の職務分担、委託会社の社員との連携でした。

島田市では、正規職員のみではアウトリーチ事業を実施することが難しい状況（経験や職員数の不足）であり、窓口業務のみを委託した場合には、正規職員、会計年度任用職員、委託業者の社員が存在することとなるため、業務の住み分けや連絡調整に不安が残ることになります。

このため、浜松市での状況を知りたかったのですが、浜松市は正規職員数が多く、かつ図書館業務に精通した正規職員が多くいるということから、アウトリーチ等のソフト事業を正規職員のみで行っているとのことでしたので、参考にはできないと思いました。

アウトリーチ事業等を含めて業務委託することも1つの方法ではありますが、偽装請負にならないか等の疑念を払拭する必要があり、判断に迷うところです。

予算が厳しい状況からすれば、会計年度任用職員制度での人件費が確保できなければ職員（正規職員・会計年度任用職員）を減らさざるを得なくなり、サービスを縮小するか、サービスを維持するために業務委託をするかの二択にならざるを得ません。

市民の代表である図書館協議会委員の皆様にご意見をお伺いし、図書館にとって最適な方法を決定したいと考えています。

令和元年度 4月～9月 分類別貸出件数

単位:冊、点

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術・美術
2,127	4,983	17,227	10,371	16,060	21,217	5,831	20,296
0.7%	1.7%	5.9%	3.6%	5.5%	7.3%	2.0%	7.0%

言語	文学	絵本	紙芝居	雑誌	視聴覚	分類未入力	合計
1,922	102,289	60,947	1,375	14,387	2,179	8,858	290,069
0.7%	35.3%	21.0%	0.5%	5.0%	0.8%	3.0%	100.0%

NPO法人の図書館運営について

第1回 図書館協議会にてNPO法人による民設民営の図書館運営の意見が出され、調査を行いましたので結果について報告します。

NPO法人が図書館運営する場合は、1 民設民営の図書館、2 指定管理者として運営する場合があります。また、公立図書館運営に対するNPO法人の関わりについて静岡県内の実態についてまとめましたのでご覧ください。

1 民設民営の図書館

① 公立図書館との違い

公立の図書館は、資料の収集・整理・保存・提供など図書館法に則った社会教育施設としての役割がある。他方、NPO法人による民間図書館は、行政の制約は受けないが、寄付や寄贈の運営が主となるため、運営もボランティアが中心となり規模が小さい。また、図書館単体の運営ではなく他に施設管理や事業を行い採算性を含め経営するNPO法人が多い。

(事例)

千葉県船橋市「NPO法人 情報ステーション」

(目的) 地域住民から本を寄贈により、商店街の空き店舗や空き家、商業施設や老人ホーム、マンションの共有部などのスペースに本棚を置いて並べ、その管理は主に近隣から募ったボランティアにて行う。また、静かに本を読むスペースではなく、みんなが楽しく過ごす場所として運営をすることで、地域の交流空間を主な目的としている。

(法人の概要)

- ・名称 情報ステーション 所在：千葉県船橋市本町 4-34-13
- ・設立 2004年8月24日 資本金 0円
- ・活動内容
 - ①地域密着型の民間図書館の運営
 - ②地域密着イベント開催のサポート
 - ③地域密着型クラウドファンディングサイト [FAAVO 千葉](#)の運営

2 指定管理者としてのNPO法人

地方公共団体の代わりに委託事業を行う指定管理者として民間業者と同じく委託業者としてのNPO法人が委託を受け、地方公共団体は管理監督の下に運営を行う。

※指定管理制度とは

公の施設は、これまで、地方公共団体の出資法人、公共団体、公共的団体に限って管理を委託（管理委託制度）することができましたが、法改正により、管理委託制度

は廃止され、これらの団体に加え幅広く民間事業者を含んだ地方公共団体が指定する「指定管理者」が管理を代行（指定管理者制度）することができる制度。

※地方自治法の一部を改正する法律（平成 15 年法律第 81 号）」平成 15 年 9 月 2 日施行)

3 全国及び静岡県内の指定管理や委託業務の状況

①全国で NPO 法人が指定管理者となっている館数は 35 館

指定管理制度導入実績（2018 年度）

		特別区	政令市	市	町村	合計
図書館数		119	63	307	62	551
指定管理者の 性格	民間企業	119	51	252	28	450
	NPO	0	1	21	13	35
	公社財団	0	11	27	17	55
	その他	0	0	7	4	11

②静岡県内の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

- ・ 指定管理制度導入市 浜松市、裾野市
 ※浜松市は民間業者、NPO 法人など複数と委託
 裾野市は文化センター内の図書室のみ委託
- ・ 業務委託導入市 御殿場市、浜松市、牧之原市
 ※浜松市は、図書館ごとに指定管理、業務委託が異なる。